

大阪経済の情勢

(2023年1月指標を中心に)

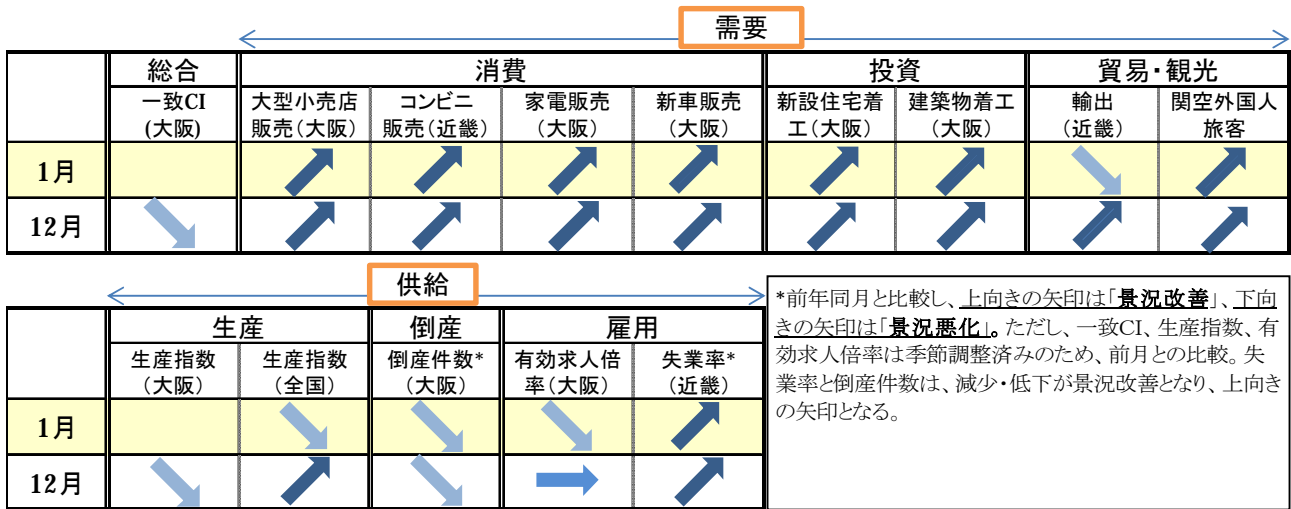
2023年3月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;12月)は増加。投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向けで減少。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱含んでいる。大阪府(12月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(12月)は上昇。全国の生産(1月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(12月)は低下。

先行きでは、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。



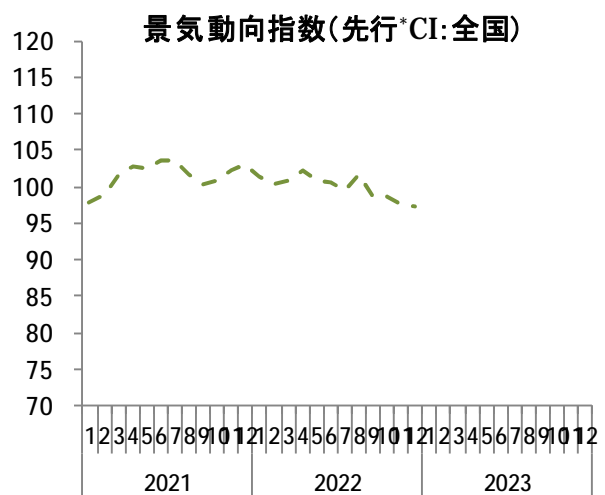
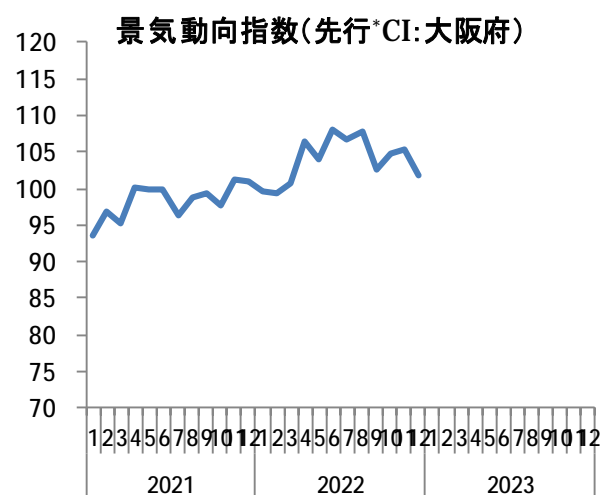
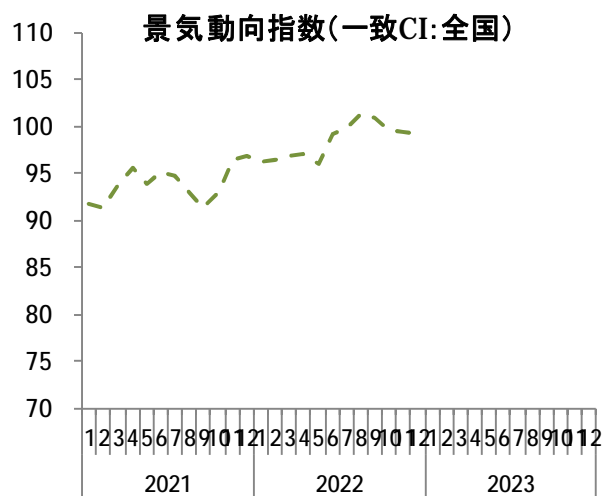
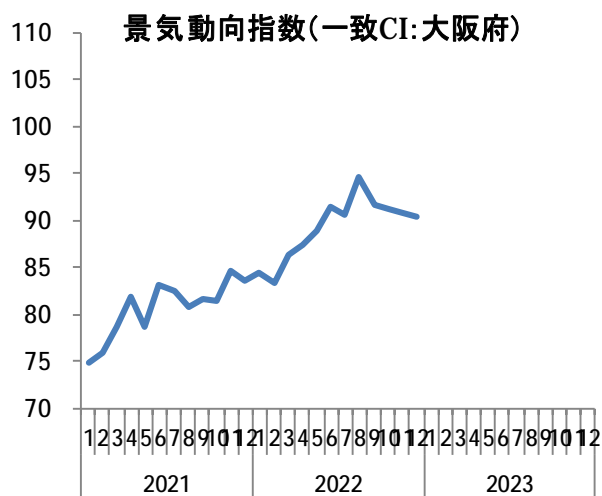
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2023年1月公表分) (2022年11月指標中心)	先月(2023年2月公表分) (2023年12月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、緩やかに持ち直している。	大阪経済は、緩やかに持ち直している。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで、持ち直している。	関西の景気は、感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで、持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(12月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」が低下に寄与。全国(12月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年11月	12月	23年1月
先行CI	105.3	P 101.7	
一致CI	90.7	P 90.3	

	全国		
	22年11月	12月	23年1月
先行CI	97.7	97.2	
一致CI	99.3	99.1	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、12月速報)

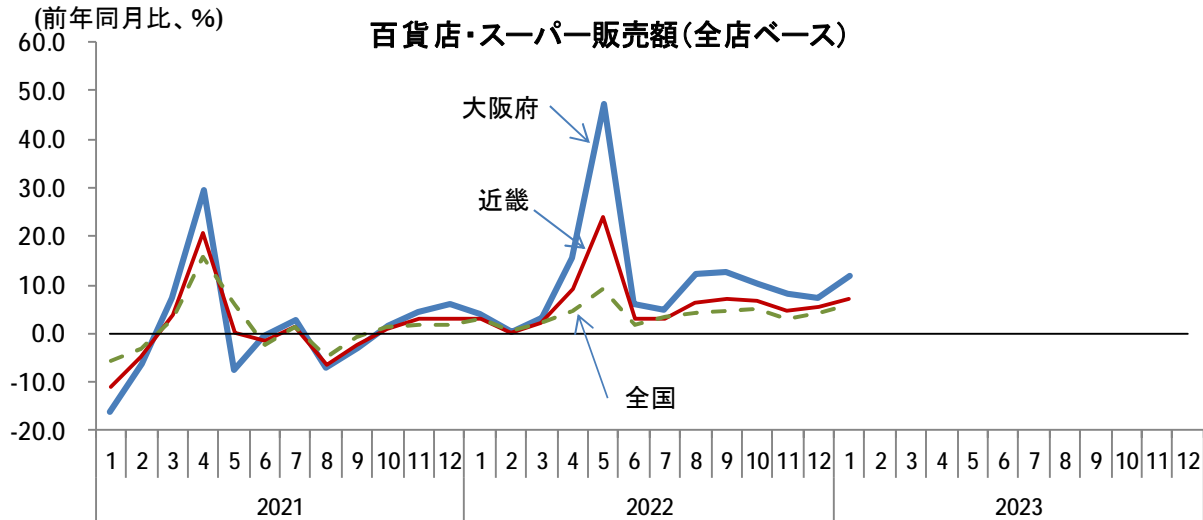
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.83	▲0.38	▲0.44	0.24	▲0.56	0.08	▲0.19

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;12月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【16ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年11月	12月	23年1月
販売額(億円)	大阪府	1,536	1,974	P 1,489
前年比(%)	大阪府	8.0	7.2	P 11.7
	近畿	4.7	5.4	P 7.3
	全国	3.0	4.1	P 5.9

百貨店販売額(全店)

		22年11月	12月	23年1月
前年比(%)	大阪府	12.3	8.6	P 21.0
	全国	4.1	3.7	P 14.4

スーパー販売額(全店)

		22年11月	12月	23年1月
前年比(%)	大阪府	3.5	5.6	P 3.6
	全国	2.6	4.2	P 3.1

○コンビニエンスストア販売額(全店)【14ヶ月連続の増加。】

		22年11月	12月	23年1月
販売額(億円)	大阪府	913	872	P 708
前年比(%)	大阪府	39.3	20.6	P 8.3
	近畿	21.2	9.0	P 5.0
	全国	7.9	3.9	P 4.1

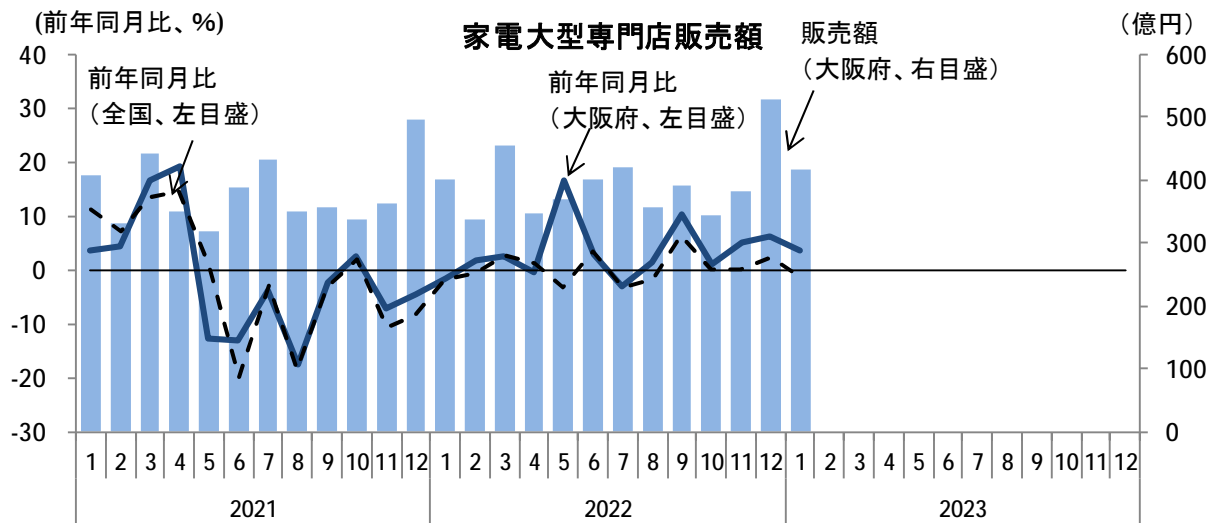
○家計消費支出【近畿(12月)は12ヶ月連続の増加。】

		22年11月	12月	23年1月
円	近畿	281,055	333,489	
前年比(%)	近畿	5.5	6.9	
	全国	3.2	3.4	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で6ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年11月	12月	23年1月
前年比 (%)	大阪府	5.1	6.2	P 3.5
	全国	0.3	2.5	P ▲1.2

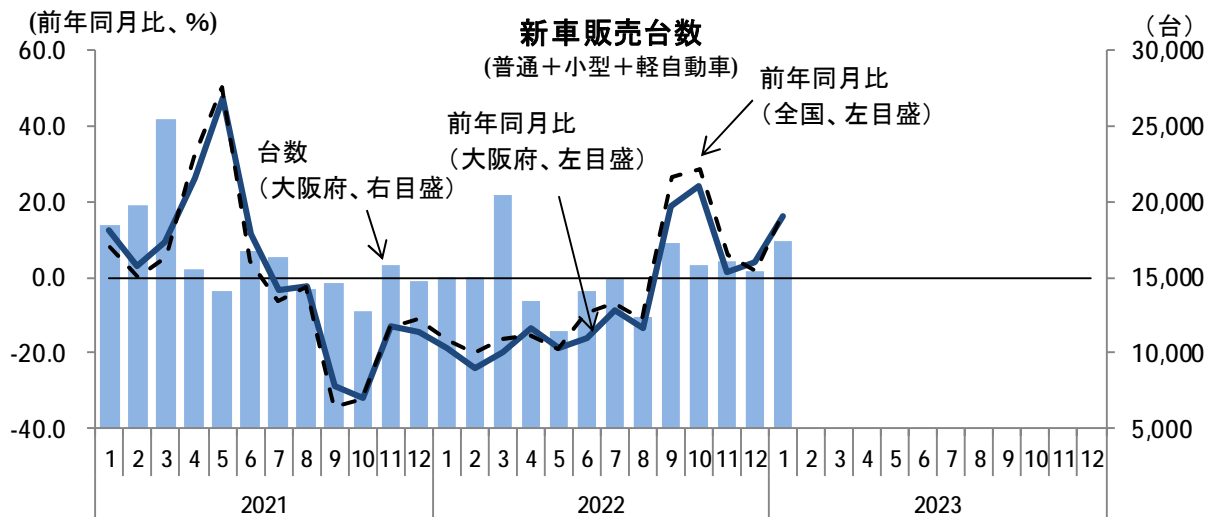
ドラッグストア販売額(全店)

		22年11月	12月	23年1月
前年比 (%)	大阪府	8.8	14.1	P 3.9
	全国	7.9	11.1	P 4.9

ホームセンター販売額(全店)

		22年11月	12月	23年1月
前年比 (%)	大阪府	▲2.4	2.2	P ▲3.8
	全国	▲1.3	2.9	P ▲1.7

○新車販売台数【前年同月比で5ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		22年11月	12月	23年1月
販売額(台)	大阪府	16,083	15,376	17,341
前年比 (%)	大阪府	1.6	3.9	15.9
	全国	5.6	1.5	17.4

車種別の増減

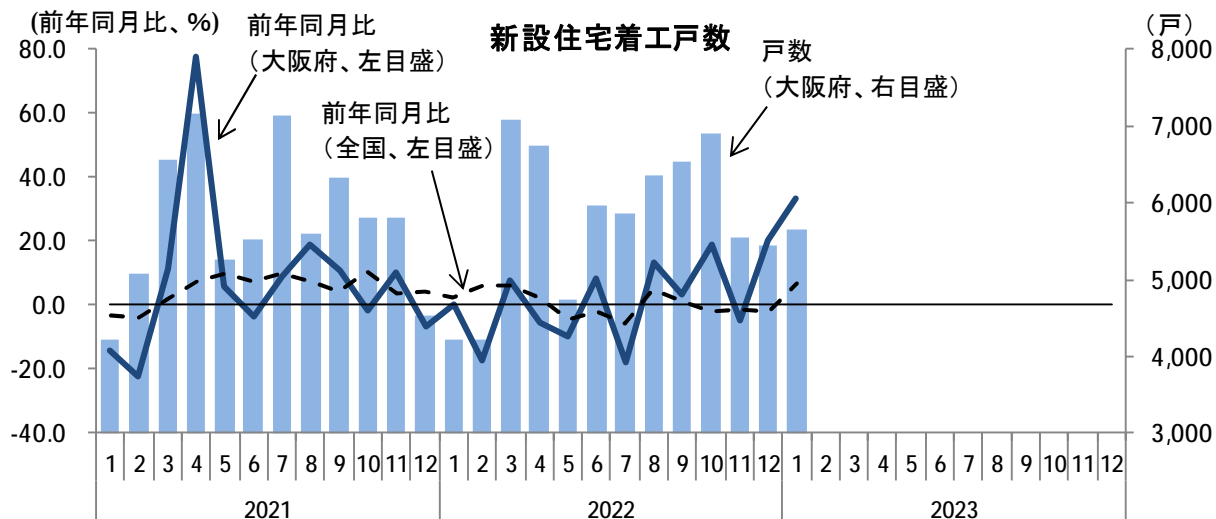
(大阪府、前年同月比(%)、23年1月)

普通車	小型車	軽自動車
22.2	2.9	18.0

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに増加。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】

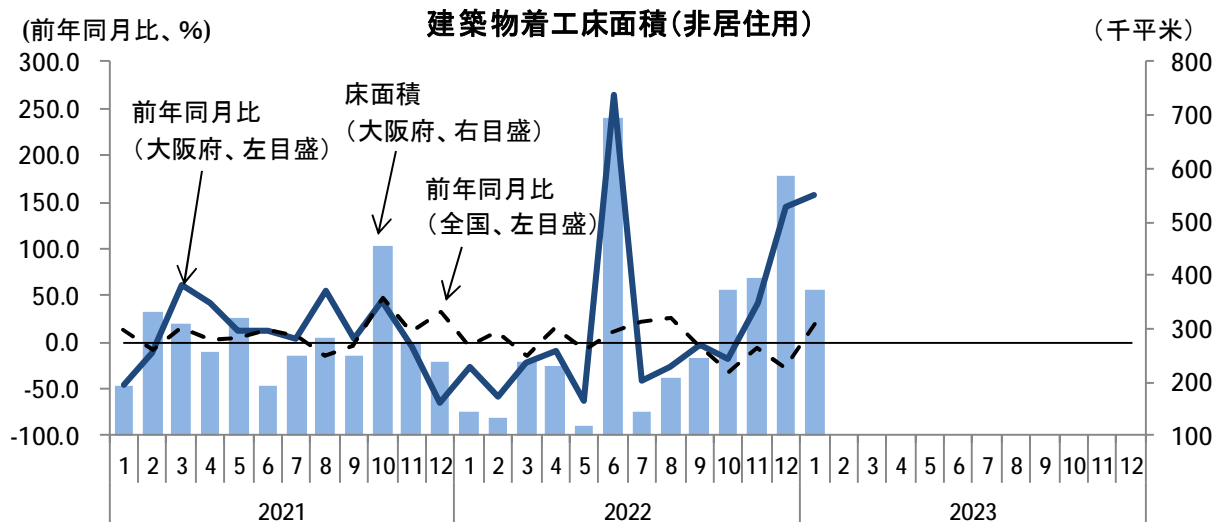


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年11月	12月	23年1月
戸数	大阪府	5,539	5,443	5,640
前年比 (%)	大阪府	▲4.7	20.1	33.3
	全国	▲1.4	▲1.7	6.6

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、23年1月)		
持家	貸家	分譲
▲3.1	24.5	68.8

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で3ヶ月連続の増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

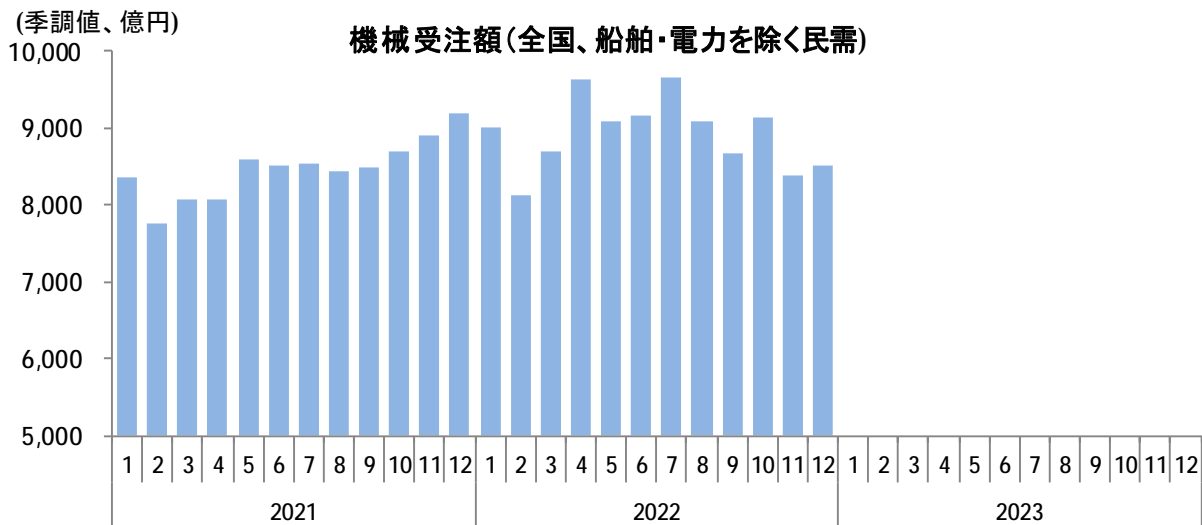
		22年11月	12月	23年1月
千 m ²	大阪府	395	585	372
前年比 (%)	大阪府	42.9	144.8	156.6
	全国	▲6.0	▲28.6	20.4

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%)、23年1月)	
増加	卸売業・小売業(49.1)、運輸業(39.4)
減少	不動産業(▲5.4)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

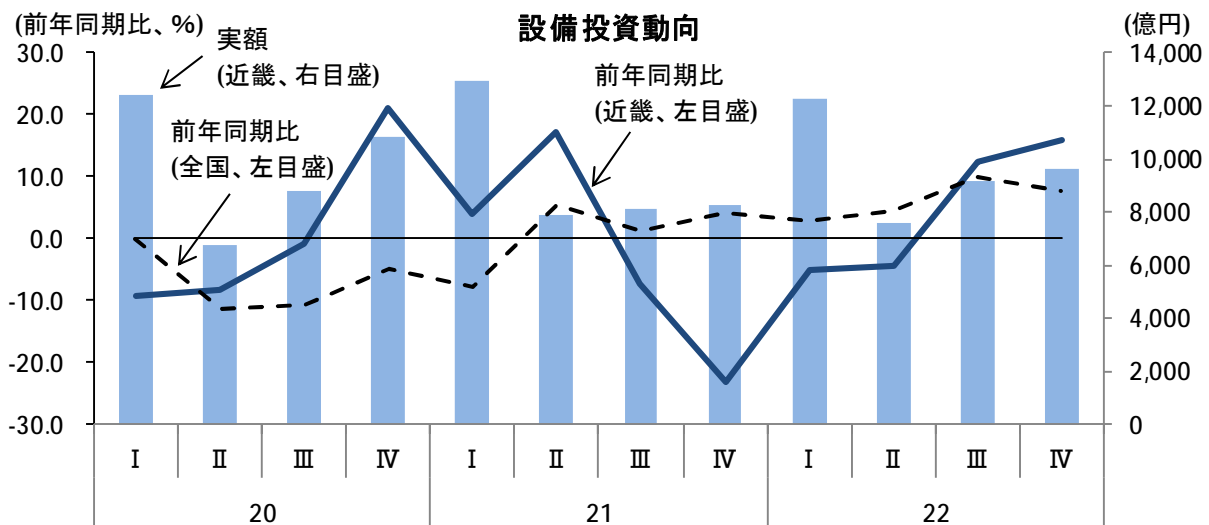
○機械受注額【12月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年11月	12月	23年1月
全国(億円)	8,388	8,519	

○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で2期連続の増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	7,557	9,160	9,616
前年同期比(%)	近畿	▲4.3	12.3	15.9
	全国	4.6	9.8	7.7

○公共工事請負金額【6ヶ月連続の増加。】

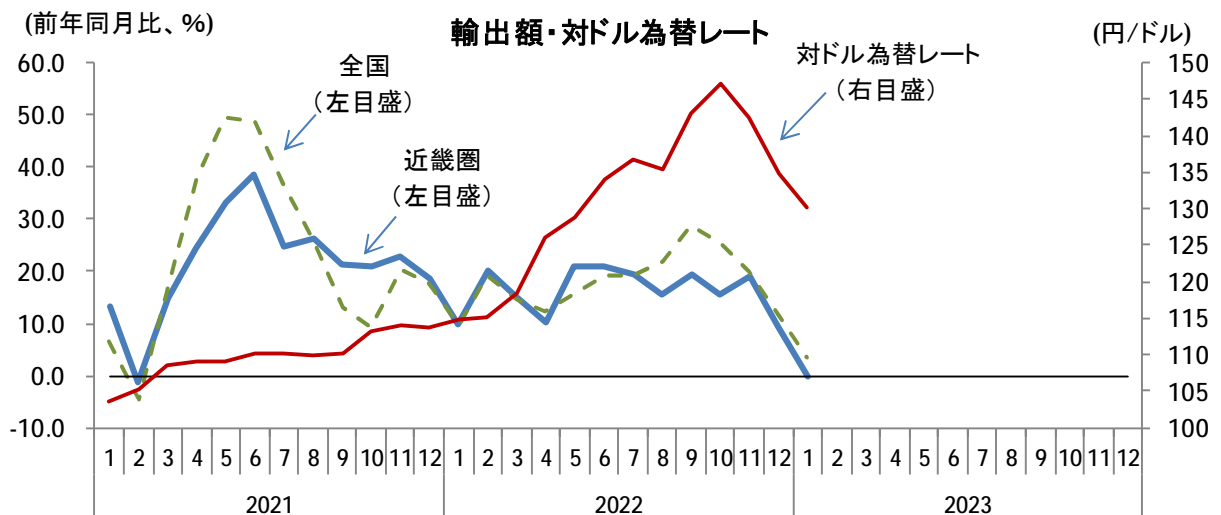
		22年11月	12月	23年1月
億円	大阪府	244	252	296
前年比(%)	大阪府	1.0	13.0	32.6
	全国	▲7.6	▲8.4	▲2.3

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は減少。主要国向けでは、アジア向け・中国向けで減少。輸入額は増加。

○輸出額【23ヶ月ぶりの減少。「半導体等電子部品」、「半導体等製造装置」などが減少。主要国・地域向けでは、アジア・中国向けで減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

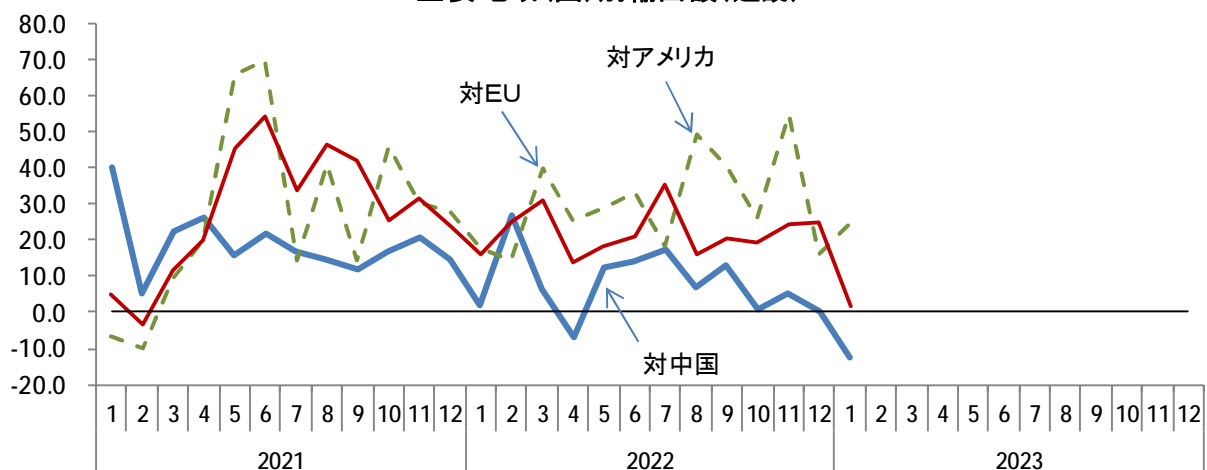
		22年11月	12月	23年1月
輸出額(億円)	近畿	18,981	19,301	P 14,103
前年比 (%)	近畿	18.9	9.5	P ▲0.2
	全国	20.0	11.5	P 3.5
為替レート(円/ドル)		142.44	134.93	130.20

品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、23年1月)

増加	無機化合物、鉄鋼
減少	半導体等電子部品、半導体等製造装置

(前年同月比、%)

主要地域(国)別輸出額(近畿)



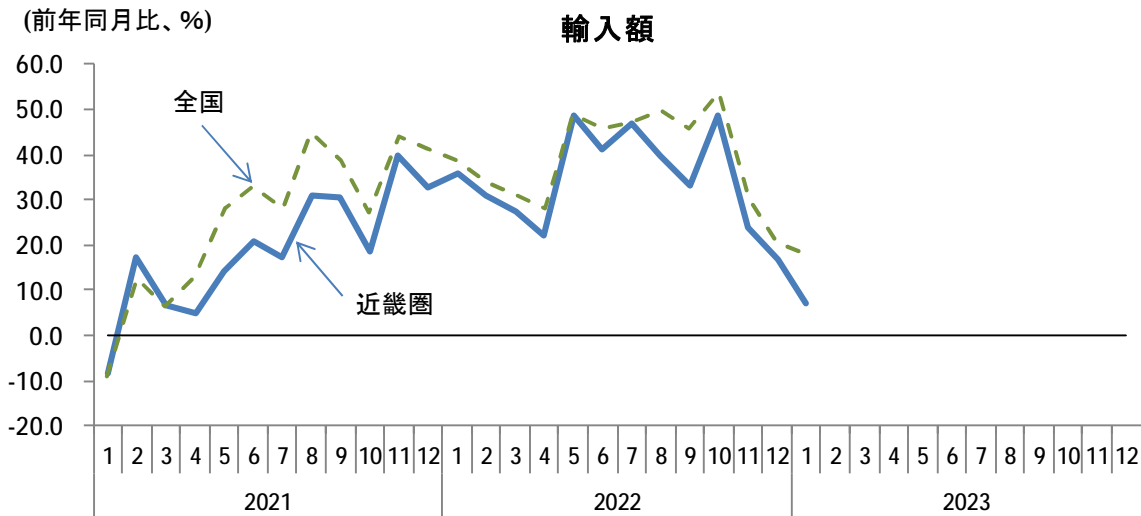
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、23年1月)

アジア(含む中国)	▲7.4	26ヶ月ぶりの減少
中国	▲12.4	9ヶ月ぶりの減少
ASEAN	15.9	23ヶ月連続の増加
EU	1.6	23ヶ月連続の増加
アメリカ	24.9	23ヶ月連続の増加

[需要] 貿易・観光

○輸入額【24ヶ月連続の増加。「天然ガス及び製造ガス」、「石炭」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年11月	12月	23年1月
輸入額(億円)	近畿	18,785	P 17,238	P 16,904
前年比 (%)	近畿	23.9	P 16.6	P 7.2
	全国	30.3	P 20.7	P 17.8

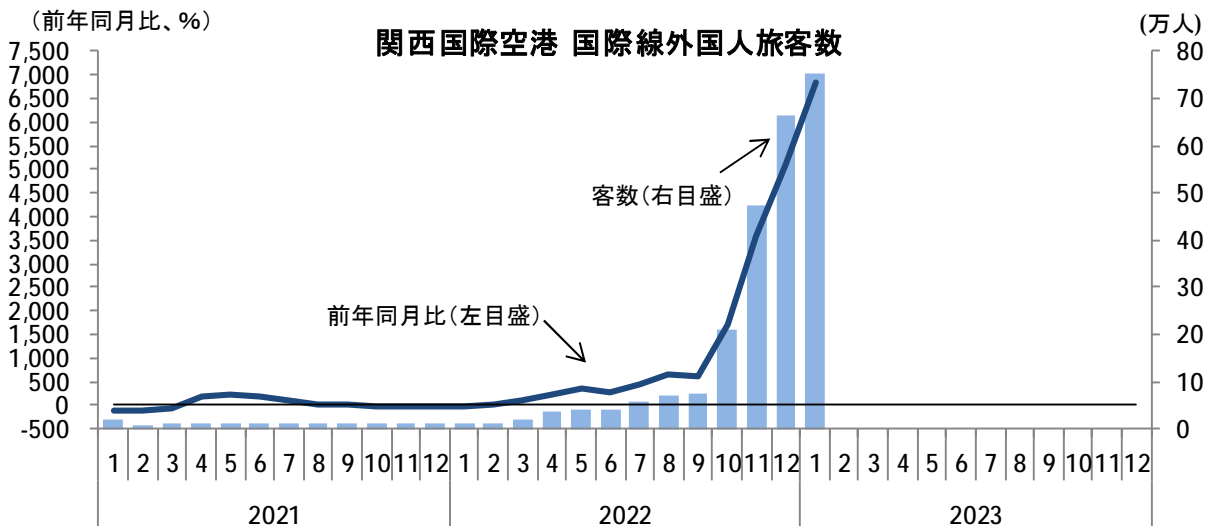
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、23年1月)

増加	天然ガス及び製造ガス、石炭
減少	医薬品、通信機

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、23年1月

アジア(含む中国)	6.0	24ヶ月連続の増加
中国	2.9	9ヶ月連続の増加
ASEAN	17.1	24ヶ月連続の増加
EU	▲28.3	2ヶ月連続の減少
アメリカ	11.4	9ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で12ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年11月	12月	23年1月
万人	47.4	P 66.3	P 75.3
前年比(%)	3572.9	P 5096.5	P 6850.4

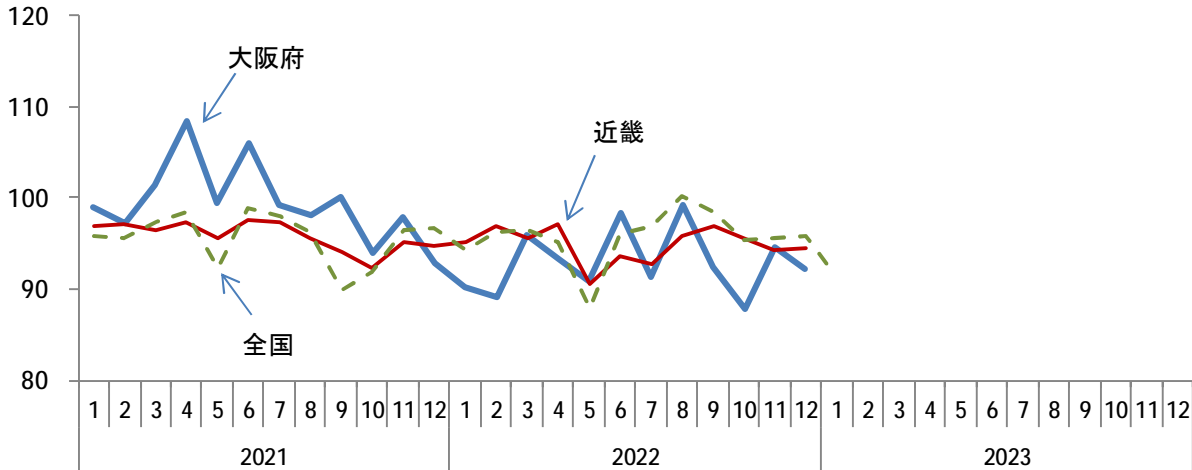
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱含んでいる。大阪府(12月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(12月)は上昇。全国の生産(1月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(12月)は2ヶ月ぶりの低下。「輸送機械工業」、「生産用機械工業」などが低下。近畿(12月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの上昇。全国(1月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年11月	12月	23年1月
大阪府	94.7	P 92.1	
近畿	94.2	94.4	
全国	95.5	95.8	P 91.4

鉱工業出荷指数

季調済	22年11月	12月	23年1月
大阪府	92.2	P 89.7	
近畿	93.6	93.6	
全国	93.4	92.6	P 89.7

生産指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、12月速報)

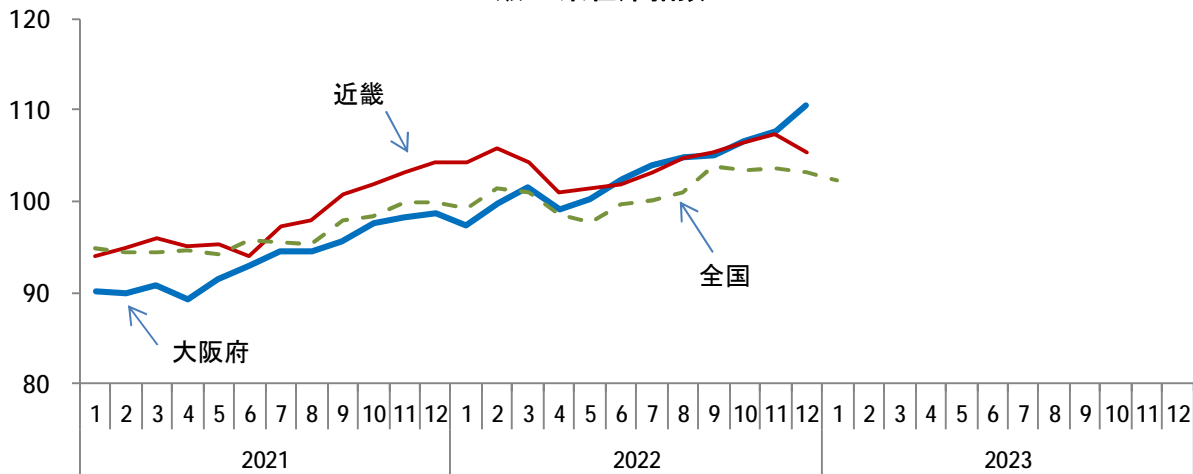
上昇	化学工業(2.2):医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械工業(2.7):セパレート形エアコン(室外)、開閉制御装置
低下	プラスチック製品工業(4.1):プラスチック製容器(中空成形)、プラスチック製機械器具部品
	輸送機械工業(▲12.2):鉄道車両、電動アシスト自転車
	生産用機械工業(▲4.3):ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業(▲6.6):汎用内燃機関、冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(12月)は8ヶ月連続の上昇。「化学工業」、「電気・情報通信機械工業」などが上昇。近畿(12月)は8ヶ月ぶりの低下。全国(1月)は2ヶ月連続の低下。】

(季節調整済)

鉱工業在庫指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業在庫指数

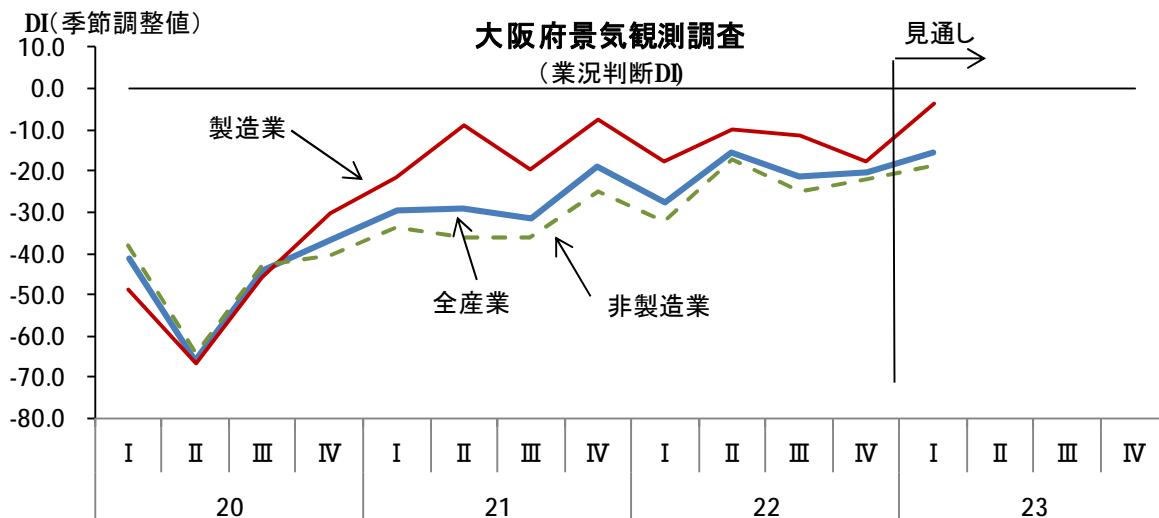
季調済	22年11月	12月	23年1月
大阪府	107.7	P 110.4	
近畿	107.3	105.4	
全国	103.6	103.2	P 102.3

在庫指数における産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、12月速報)

上昇	化学工業(5.7):フルオロカーボン、ふっ素樹脂
	電気・情報通信機械工業(4.3):セパレート形エアコン(室外)、乾電池
低下	汎用・業務用機械工業(▲2.5):汎用内燃機関、ポンプ
	鉄鋼・非鉄金属工業(▲0.7):鋼半製品、アルミニウムはく

○企業の業況判断【10~12月期(全産業)は2期ぶりの改善。】

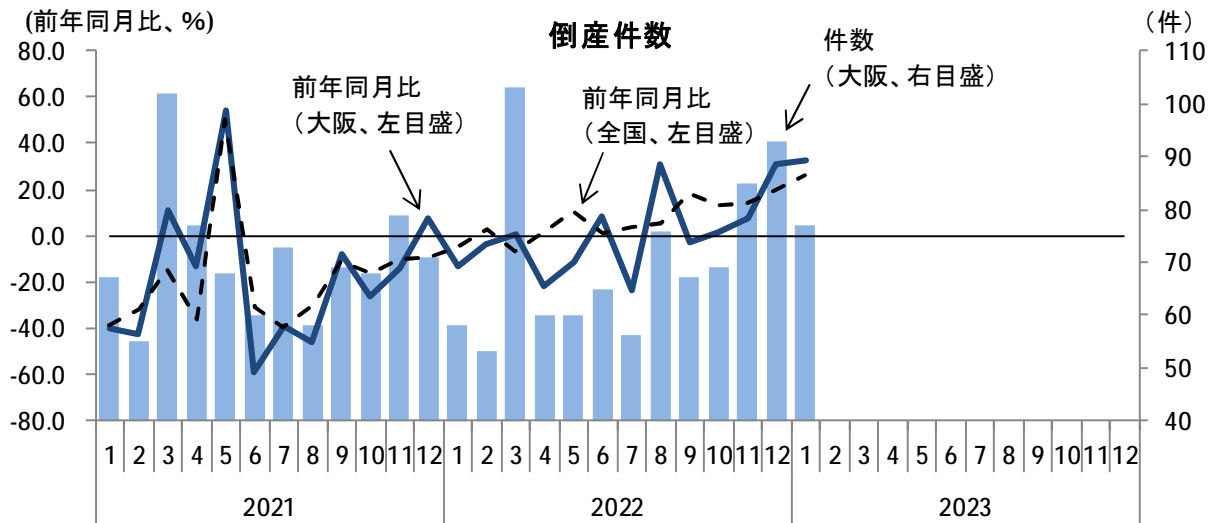


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年 4~6月	7~9月	10~12月	23年1~3月 (見込み)
製造業	▲10.2	▲11.2	▲17.8	▲3.7
非製造業	▲17.1	▲24.9	▲22.1	▲18.8
全産業	▲15.8	▲21.3	▲20.3	▲15.4

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で4ヶ月連続の増加(悪化)、負債金額は前年同月比で4ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年11月	12月	23年1月
件	大阪府	85	93	77
前年比 (%)	大阪府	7.5	30.9	32.7
	全国	13.9	20.2	26.1

負債金額

		22年11月	12月	23年1月
億円	大阪府	76	99	60
前年比 (%)	大阪府	55.2	187.9	127.5
	全国	22.8	▲15.0	▲15.5

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年11月	12月	23年1月
建設業	13	15	12
製造業	11	6	8
卸売業	9	12	8
小売業	13	11	7
サービス業他	25	32	31

主な倒産(大阪府、23年1月)

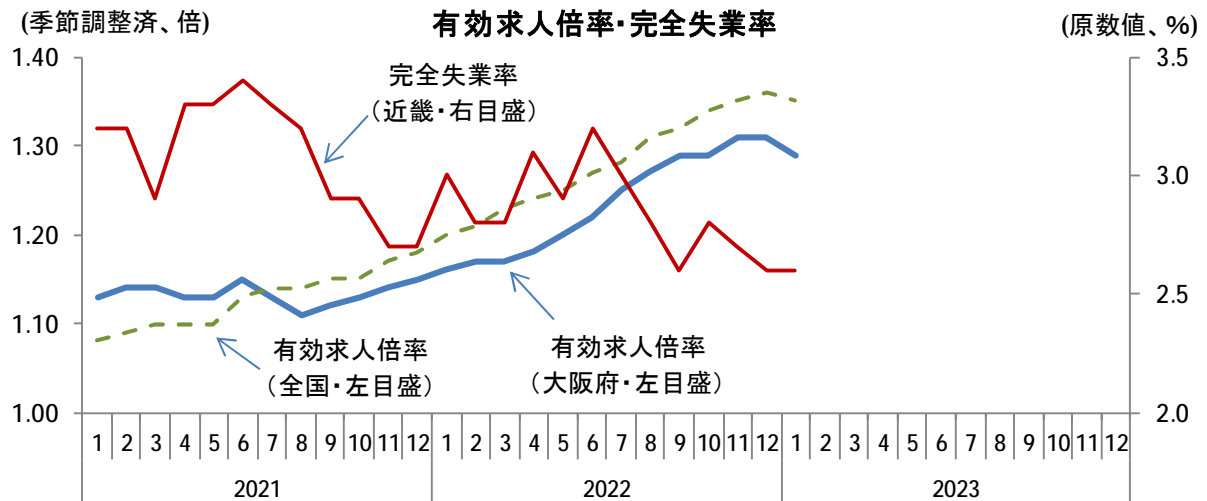
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
印刷業	1,000	販売不振
戸建販売ほか	690	過小資本
照明器具製造	498	販売不振
一般貨物自動車運送業	360	販売不振
清掃業、リサイクルショップ経営	260	他社倒産の余波
建築工事ほか	250	既往のシワ寄せ

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(12月)は低下。

○完全失業率【近畿は前年比で2ヶ月連続の改善】

有効求人倍率【大阪は17ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は5ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年11月	12月	23年1月
%	2.7	2.6	2.6
前年同月差	0.0	▲0.1	▲0.4

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年11月	12月	23年1月
%	2.5	2.5	2.4
前月差	▲0.1	0.0	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率 (原数値、%)

	22年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	3.6	3.3	2.8
近畿	3.1	2.8	2.7
全国	2.7	2.6	2.4

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年11月	12月	23年1月
大阪府	1.31	1.31	1.29
全国	1.35	1.36	1.35

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年11月	12月	23年1月
大阪府	2.64	2.65	2.70
全国	2.38	2.38	2.38

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

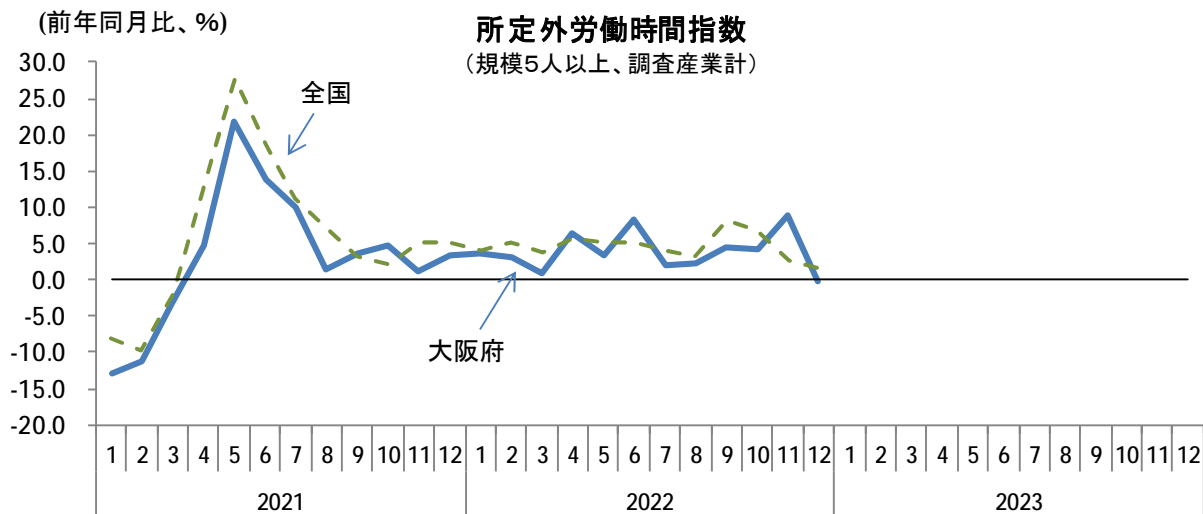
	22年11月	12月	23年1月
産業計	7.1	2.4	4.4
建設業	4.3	▲25.7	▲3.3
製造業	0.1	▲2.7	2.9
卸売業、小売業	14.4	18.8	3.9
宿泊業、飲食サービス業	9.7	15.3	17.6
医療、福祉	5.2	▲0.5	▲1.3

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

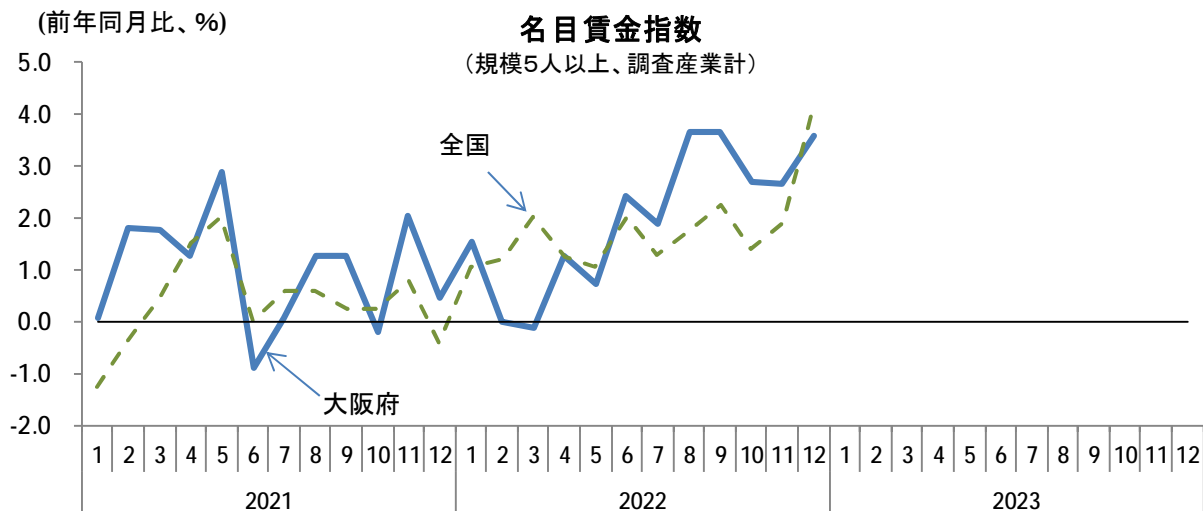
○所定外労働時間指数【大阪府(12月)は21ヶ月ぶりの低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		22年11月	12月	23年1月
指数	大阪府	112.9	110.6	
前年比 (%)	大阪府	8.9	▲0.2	
	全国	2.7	1.7	

○名目賃金指数【大阪府(12月)は9ヶ月連続の上昇。】

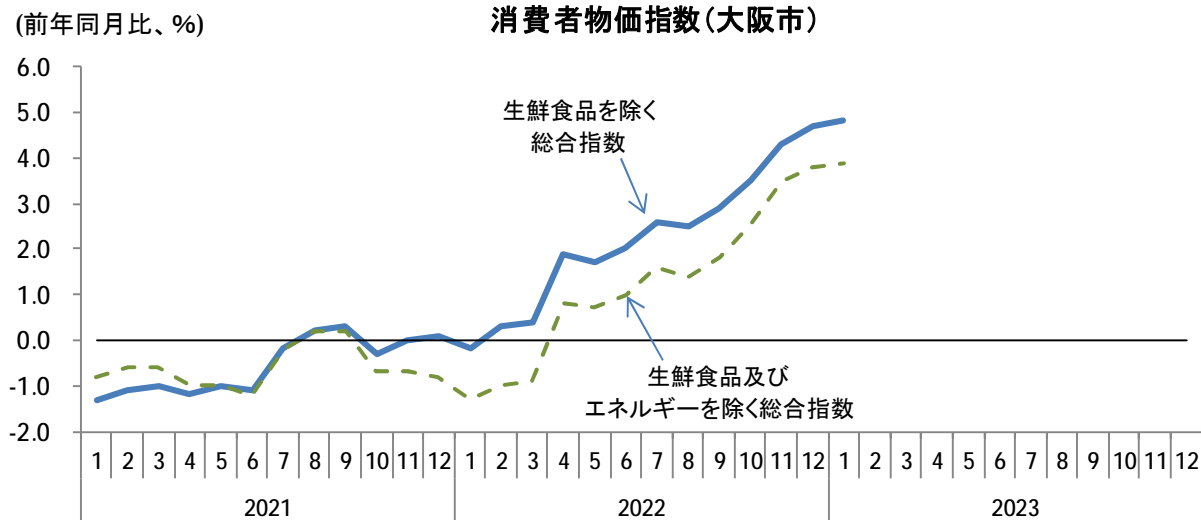


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

		22年11月	12月	23年1月
現金給与総額(円)	大阪府	292,652	604,635	
前年比 (%)	大阪府	2.6	3.6	
	全国	1.9	4.1	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は12ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は10ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		22年11月	12月	23年1月
指数	大阪市	104.0	104.2	P 104.8
前年比 (%)	大阪市	4.5	4.8	P 5.1
	全国	3.8	4.0	4.3

生鮮食品を除く総合指数

		22年11月	12月	23年1月
指数	大阪市	103.7	104.1	P 104.4
前年比 (%)	大阪市	4.3	4.7	P 4.8
	全国	3.7	4.0	4.2

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		22年11月	12月	23年1月
指数	大阪市	102.4	102.6	P 102.8
前年比 (%)	大阪市	3.5	3.8	P 3.9
	全国	2.8	3.0	3.2

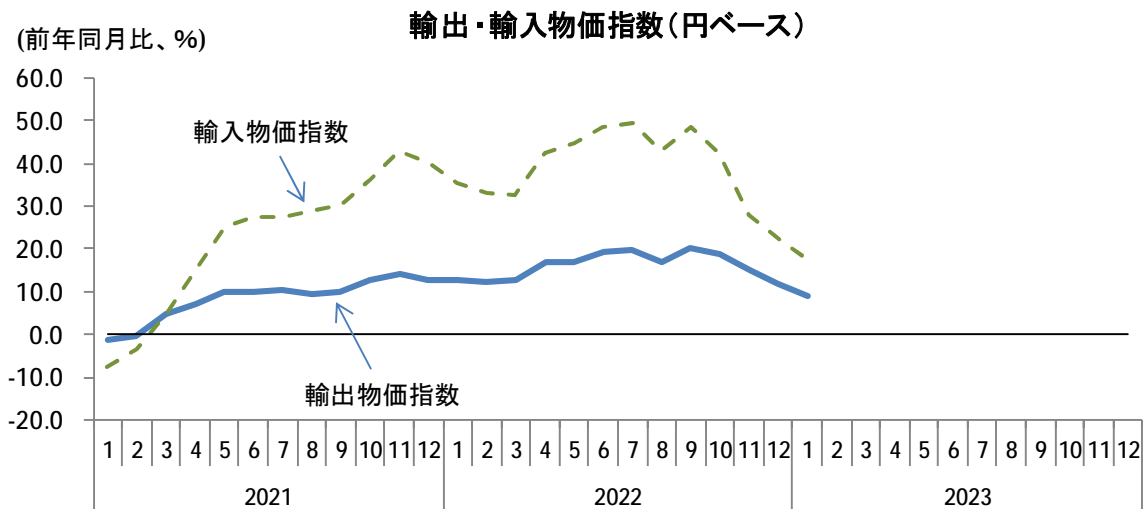
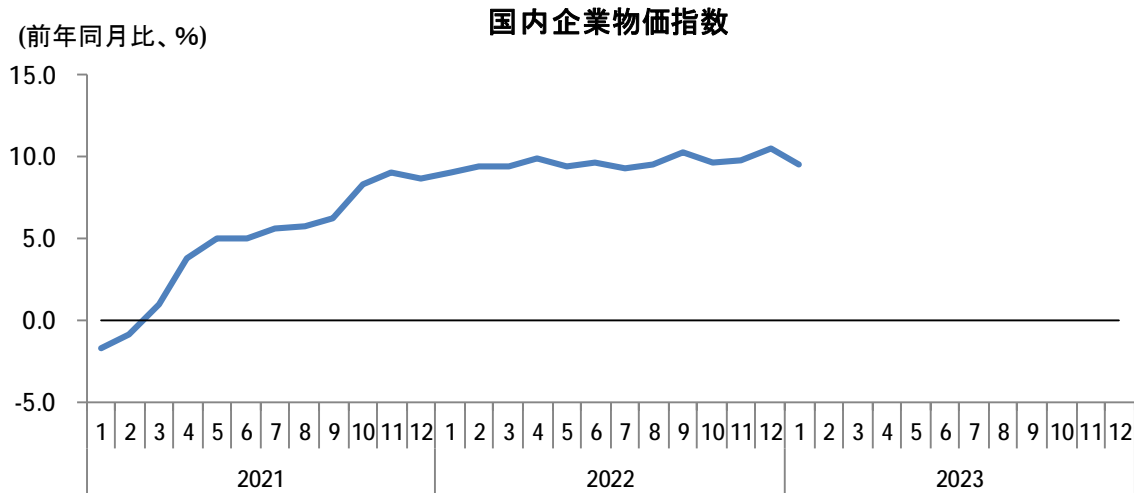
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、23年1月速報)

上昇	食料(8.3):魚介類(さけ、さば、いわし)、肉類(豚肉(輸入品)、味付け肉、ソーセージ)
	光熱・水道(15.7):ガス代(都市ガス代、プロパンガス)、電気代(電気代)
低下	—

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は2020年=100。

企業物価指数

	22年11月	12月	23年1月
国内企業物価指数	119.0	119.8	P 119.8
輸出物価指数	130.6	126.3	P 123.9
輸入物価指数	178.6	170.4	P 163.8

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(23年1月速報、寄与度(%))

上昇	電力・都市ガス・水道 (0.10) : 事業用電力、上水道 金属製品 (0.04) : 鉄骨、アルミニウムサッシ、アルミニウム製飲料用缶 非鉄金属 (0.03) : 銅、アルミニウム合金ダイカスト、プラスチック被覆銅線
	石油・石炭製品 (▲0.22) : B重油・C重油、ナフサ、ジェット燃料油 木材・木製品 (▲0.04) : 住宅建築用木製組立材料、集成材、ひき角 農林水産物 (▲0.03) : 豚肉、牛肉、鶏卵